

申込月日(月 日)

希望講座 希望講座に✓を 入れてください	☐ 基調講座(10月23日) 定員50人(抽選) 参加無料		
	☐ 実践講座(11月20日・12月11日・12月25日) 定員15人(抽選) 参加無料		
フリガナ		年齢	
氏 名		歳	男 ・ 女
住 所	(〒 -)		
電話番号			
メールアドレス			
団体名	現在活動中の自治会名、団体名、グループ名などがありましたらご記入ください。		
職 業	☐ 会社員 ☐ 公務員 ☐ 団体職員 ☐ 自営業 ☐ パート・アルバイト ☐ 学生 ☐ その他()		
参加の動機	参加の動機や地域でのお困り事などありましたら、お気軽にお書きください。		

※ご記入いただいた個人情報については、「講座案内及び運営に関する連絡、ひらつか地域づくり市民大学で行う活動調査」以外には利用いたしません。
※当日は、報道機関の取材が入る場合があります。
また、講座の様子を写真等に記録して、紙面やホームページ上に掲載させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※本講座は新型コロナウイルス感染症対策に配慮の上、実施いたします。

- 【参加対象者】 市内在住・在勤・在学の方、市内で活動する団体の方、地域づくりに関心のある方
定員／基調講座 50 人（抽選）、実践講座 15 人（抽選）
- 【申込方法】 上記の参加申込書に必須項目をご記入の上、市内各公民館へご提出ください。または郵送・FAX・メールにて中央公民館にお送りください。尚、参加が決定された方には参加決定通知書をお送りします。
- FAX 0463-35-2537
E-mail chuo-k@city.hiratsuka.kanagawa.jp
- 【締め切り】 10月14日(金) 必着
- 【お問合せ】 平塚市中央公民館 〒254-0047 平塚市追分1番20号 電話 0463-34-2111(ダイヤルイン)
休館日／9月20日(火)・9月26日(月)・10月10日(月・祝)・10月11日(火)

ひらつか地域づくり市民大学の目的と理念

- 地域の様々な団体や個人をつなぎ、地域課題などに住民自らが取り組み、住みよい地域づくりを進めていくための人材の育成や地域活動に携わる人材のすそ野を広げ、協働社会の基礎をつくります。
1. 自らの学びの成果を地域の中で活かす「協働の担い手」を育てる
 2. 地域住民や市民団体が相互に連携・協力して「協働の輪」を拡げる
 3. 地域の課題解決に向け、住民が知恵と力を出し合って取り組む「協働のまちづくりの基礎」をつくる

第10回

ひらつか地域づくり
市民大学

思いを紡ぐ新しいわがまちづくりに向けて

ひらつか地域づくり市民大学は、今年度で10年目を迎えます。また、平塚市は今年で市制施行90周年となりました。ここ数年で社会を取り巻く様々な課題は変化し多様化しています。そこで、この節目の年に、これまでの市民大学の成果を振り返るとともに、これからの新しいまちづくりに向けて何が重要なのかを、具体的な実践事例を紹介しながら学んでいきます。ぜひお仲間同士、声をかけあってご参加ください。

会場 ひらつか市民活動センター(平塚市見附町1-8)

参加費 無料

10/23(日)
開講
参加者募集

※この講座は、ひらつか市民活動センターと3つの地区公民館(大神・富士見・松が丘)を繋ぎハイブリッド(リアル+オンライン)で実施します。

主催／平塚市・特定非営利活動法人 湘南NPOサポートセンター

思いを紡ぐ新しいわがまちづくりに向けて

開講式
基調講座

10月23日(日) 13:30～16:00 「誰一人取り残さない共生社会の実現に向けて」

講師：勝部 麗子 氏(豊中市社会福祉協議会事務局長)

ウイズコロナが長期化する中で、安心して暮らせるまちづくりとは？あらためて考えていかなければならない局面を迎えています。

豊中市社協が掲げる「“地域で困っている人を生みださない仕組み”を大切だと思える人たちを増やす」活動を例に地域での取り組みの方向について、オンラインでお話しいたします。

講師
紹介



勝部麗子氏

大阪府豊中市生まれ。昭和62年に豊中市社会福祉協議会に入職。平成16年に地域福祉計画を市と共同で作成、全国で第一号のコミュニティソーシャルワーカーになる。地域住民の力を集めながら数々の先進的な取り組みに挑戦。その活動は府や国の地域福祉のモデルとして拡大展開されてきた。NHKドラマ「サイレント・ブア」のモデルであり「プロフェッショナル 仕事の流儀」にも出演。著作に「ひとりぼっちをつくらないーコミュニティソーシャルワーカーの仕事」。

ひらつか地域づくり市民大学の10年の成果

「ひらつか地域づくり市民大学」は地区公民館をコミュニティ活動の拠点として活用していくとともに地域づくりを担うコーディネーターを育成していくことを目的に2013年にスタートしました。

2014年からは市内各地のまち歩きとワークショップを組み合わせ、“見て、聞いて、話し合い、プランをつくってみる”という企画調整力と実践力を学ぶスタイルを確立しました。

2015年には地域づくりの学びを通して、8地区からまちづくりプランが発表されました。

2016・2017年には市民大学に参加した方々が中心となって、市内の様々な地域づくりの事例を調査し「ひらつか元気地域づくり事例集Vol.1～2」を編集・発行しました。また、2017年には学生参加の座談会「2025年のくらし・まちについて語ろう」の他、地域づくりに必要なコミュニケーション力を学びました。

2018年は「ひらつか元気地域づくり事例集Vol.1～2」から平塚各地の地域主体の実践的取り組みを素材に学び、ワークショップでは8つの課題解決のロードマップが報告されました。

2019年は住民自治の再構築をテーマに、平塚市の現状と将来を数字で読み解く力、みんなで動く仕組みづくりを学び、6つのプロジェクトが提案されました。

2020年からは、コロナ禍を契機にオンライン形式での意見交換や各種地域データをもとにした将来の課題共有の仕方等、幅広い世代が参加していける新たな場づくりも試みています。

これまでに1000人を超える参加者が地域での様々な課題対応に向けた活動や取り組みに活かしていただいています。

各回の講座回数と参加人数

第1回：全5講座／95人	第2回：全6講座／112人	第3回：全6講座／96人
第4回：全7講座／130人	第5回：全7講座／166人	第6回：全6講座／201人
第7回：全6講座／92人	第8回：全3講座／83人	第9回：全3講座／66人

実践講座
第1回
地域づくりの
事例から学ぶ

11月20日(日) 13:30～15:30 「地域の力で支え合いの仕組みをつくる」

- ① 撫子原自治会：自治会による防災のための取り組み
- ② 須賀新田地区：地域住民の暮らしの足を支える仕組みづくり～須賀新田シニアクラブの取り組みから～
- ③ 崇善地区ちいき情報局：地域の情報発信～動画によるPRで地域を元気に！～



撫子原自治会



須賀新田地区



崇善地区ちいき情報局

実践講座
第2回
地域づくりの
事例から学ぶ

12月11日(日) 13:30～15:30 「地域の人や資源を活かしてまちを磨く」

- ④ 土屋公民館：歴史上人物(土屋三郎氏)をテーマにみんなが関わる地域づくり
- ⑤ 八幡子ども村：地域・学校・公共施設等との連携による子どもの居場所づくり
- ⑥ 城島地区地域活動推進会議：地域資源(農地)を活用した地域活性化の取り組み



土屋公民館



八幡子ども村



城島地区地域活動推進会議

実践講座
第3回
まとめ
修了式

12月25日(日) 13:30～16:00 「新しい地域づくりの一步を踏み出すために」

講師：鈴木 奏到 氏(認定都市プランナー)・宮崎 道名 氏(総務省地域力創造アドバイザー)

地域の人達のつながりや支え合いの大切さを再確認しながら地域行事・活動をリスタートしていくことが重要になってきています。地域主体で取り組む地域づくりの原点の共有とこれからの工夫の仕方を一緒に考えていきます。

講師
紹介



鈴木奏到氏
湘南NPOサポートセンター理事。全国様々な自治体の都市計画や交通計画、まちづくりの現場に30余年かかわる傍ら、地元平塚では親子体験学習型の地域教育活動を主宰している。



宮崎道名氏
新潟大学客員准教授を経て岩手県へ。市民参加のまちづくりや紫波町のオガールプロジェクトなど、各地でまちづくりの担い手育成や市民活動支援を地域に根づきながら行っている。

